

第31回 人文機構シンポジウム

エコヘルス； 生き方をも考える

— 環境・健康・長寿 —

2018.2.17 手話
通訳付 Sat 13:30 ~ 17:00 (開場13:00)

会場 ヤクルトホール
(東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル)

定員 500名 要事前申込み

主催 大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

後援 文部科学省

エコヘルスとは？

「エコヘルス」は、従来は医療や疾病研究の視点で捉えられてきた「健康」を、社会変容と環境変化が急速に進む近現代における、暮らしや生態環境、生業、食生活等との関わりから探求しようとする新たな研究の視座です。

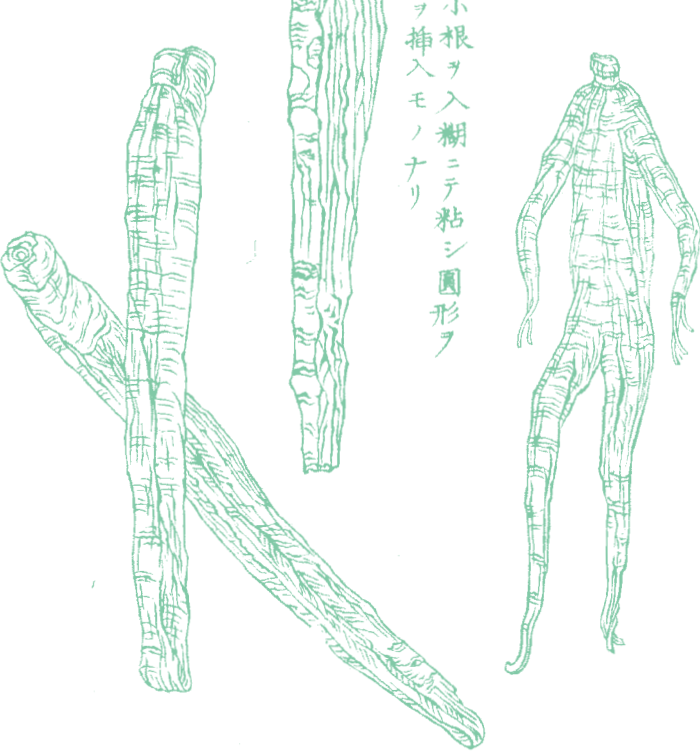
申し込み方法

以下のWEBサイトからお申込みください。

<http://www.nihu.jp/ja/event/symposium/31>

※定員達した時点で締切ります。





小根ヲ入糊ニテ粘シ圓形ヲ挿入モノナリ

品ニ分ツ朝鮮ヲ上トス形ノ大小ニ拘ハラス色鉛ノ微潤實味甘ク微苦ヲ帶嘗テ餘味アルヲ真トス

本草綱目啓蒙図譜「人参」(国文学研究資料館)

「肩こり」は、日本では精神的ストレスや社会的環境と結び付いた健康問題ととらえられますが、西欧ではそのような考え方は一般的ではありません。時代や場所によって「健康」の考え方は変わります。心身ともに健やかで社会的にも満たされた状態ととらえる人もいれば、様々な手段で維持、増進するものと考えられる人もいます。このシンポジウムでは、医学書の歴史、食の役割と食文化、環境と健康、公衆衛生と人間の生態学など様々な視点から、時代と場所を越えて「健康」とは何かを考えます。

和漢三才図会 (国文学研究資料館所蔵)

プログラム

13:30 開 会 司会 野林厚志 (国立民族学博物館)
趣旨説明 ハイน์・マレー (総合地球環境学研究所)

基調講演

「”環境→健康”から”環境⇔健康”へ」
渡辺知保 (国立環境研究所)

14:30 講演一
「江戸庶民の養生」
入口敦志 (国文学研究資料館)

講演二

「中国における
乾燥海産物嗜好に見る健康と環境
— ナマコを中心に」
赤嶺 淳 (一橋大学大学院社会学研究科)

講演三

「ウニは年をとっても死亡率が上がらない
— 長寿と健康を考える」
林 玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)
休憩 (15分)

15:45 パネルディスカッション
司 会 佐藤洋一郎 (人間文化研究機構)
パネリスト 渡辺 知保 (国立環境研究所)
林 玲子 (国立社会保障・人口問題研究所)
ハイน์・マレー (総合地球環境学研究所)

17:00 閉会



会 場 ヤクルトホール
(東京都港区東新橋1-1-19
ヤクルト本社ビル)



アクセス JR・東京メトロ 新橋駅より徒歩3分
都営浅草線 新橋駅より徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅より徒歩5分

※会場に駐車場はございません。
公共の交通機関を利用させていただきますよう、お願いいたします。